

証券コード：3091

株式会社ブロンコビリー

2024年12月期（連結） 第2四半期 決算説明資料

目次

- ・ 2024年12月期（連結）上期決算概要 P. 1
- ・ 2024年12月期（連結）業績及び配当予想と今後の取組み P.13
- ・ 参考資料 P.24

2024年12月期（連結）

上期決算概要

決算概要 2024年12月期（連結） 上期決算概要

■売上高過去最高、各利益前年予想ともに上回る

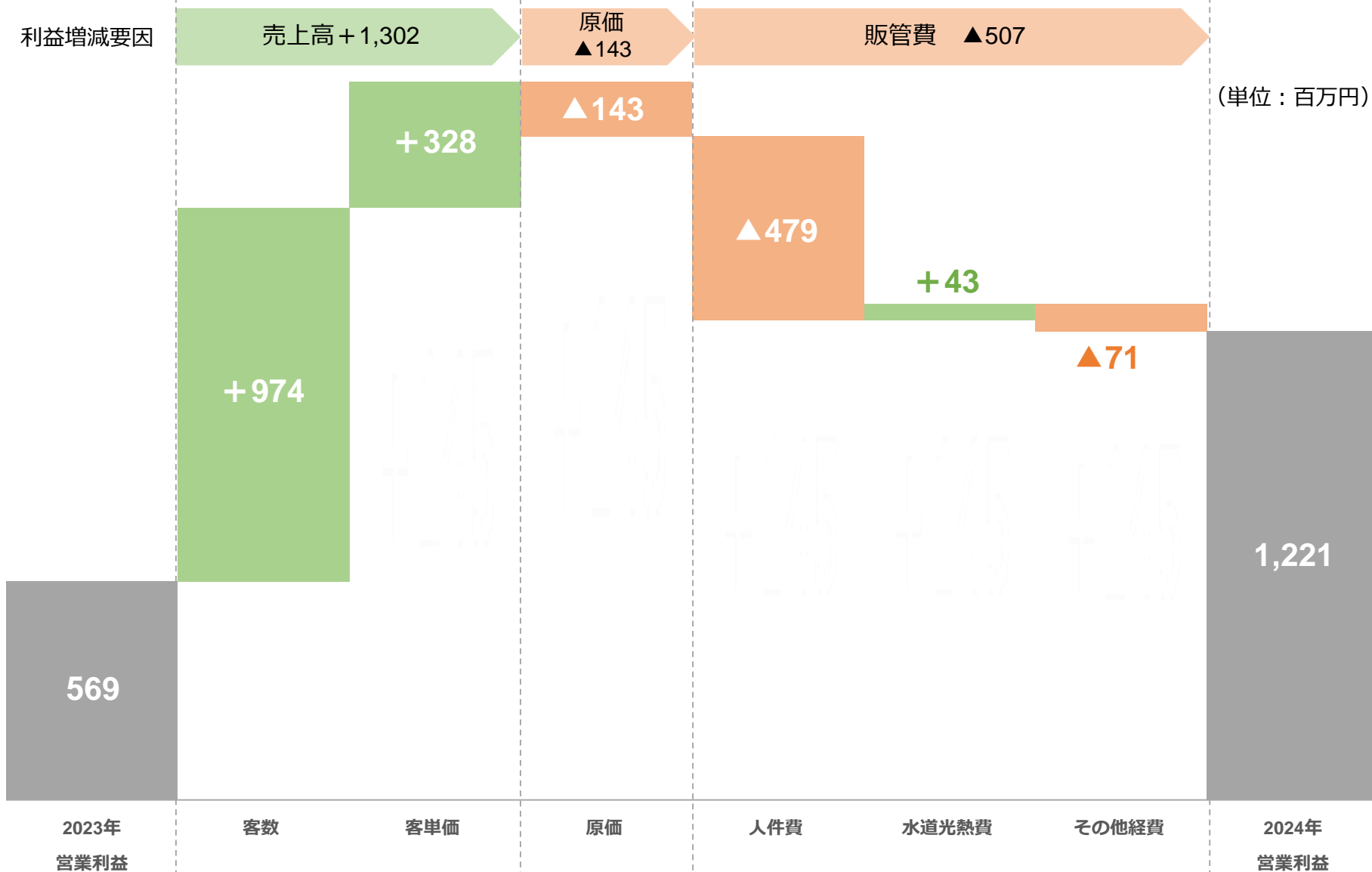
※業績予想は2024年1月19日開示の数値です

(単位：百万円)	2023年		2024年				対 比	
	実績	売上比	業績予想	売上比	実績	売上比	2023年	業績予想
売上高	11,382	100.0%	12,000	100.0%	12,684	100.0%	111.4%	105.7%
売上原価	4,029	35.4%	3,980	33.2%	4,172	32.9%	103.6%	104.8%
売上総利益	7,352	64.6%	8,019	66.8%	8,512	67.1%	115.8%	106.1%
販管費	6,783	59.6%	7,079	59.0%	7,290	57.5%	107.5%	103.0%
営業利益	569	5.0%	940	7.8%	1,221	9.6%	214.3%	129.9%
経常利益	597	5.2%	970	8.1%	1,248	9.8%	209.1%	128.7%
当期純利益	334	2.9%	580	4.8%	823	6.5%	246.6%	142.1%

■既存店前年比 売上高 110.9% 客数 106.5% 客単価 104.0%

決算概要 営業利益の増減要因（前年比）

■ 客数と客単価アップによる売上増大と、人への投資を含め営業利益増



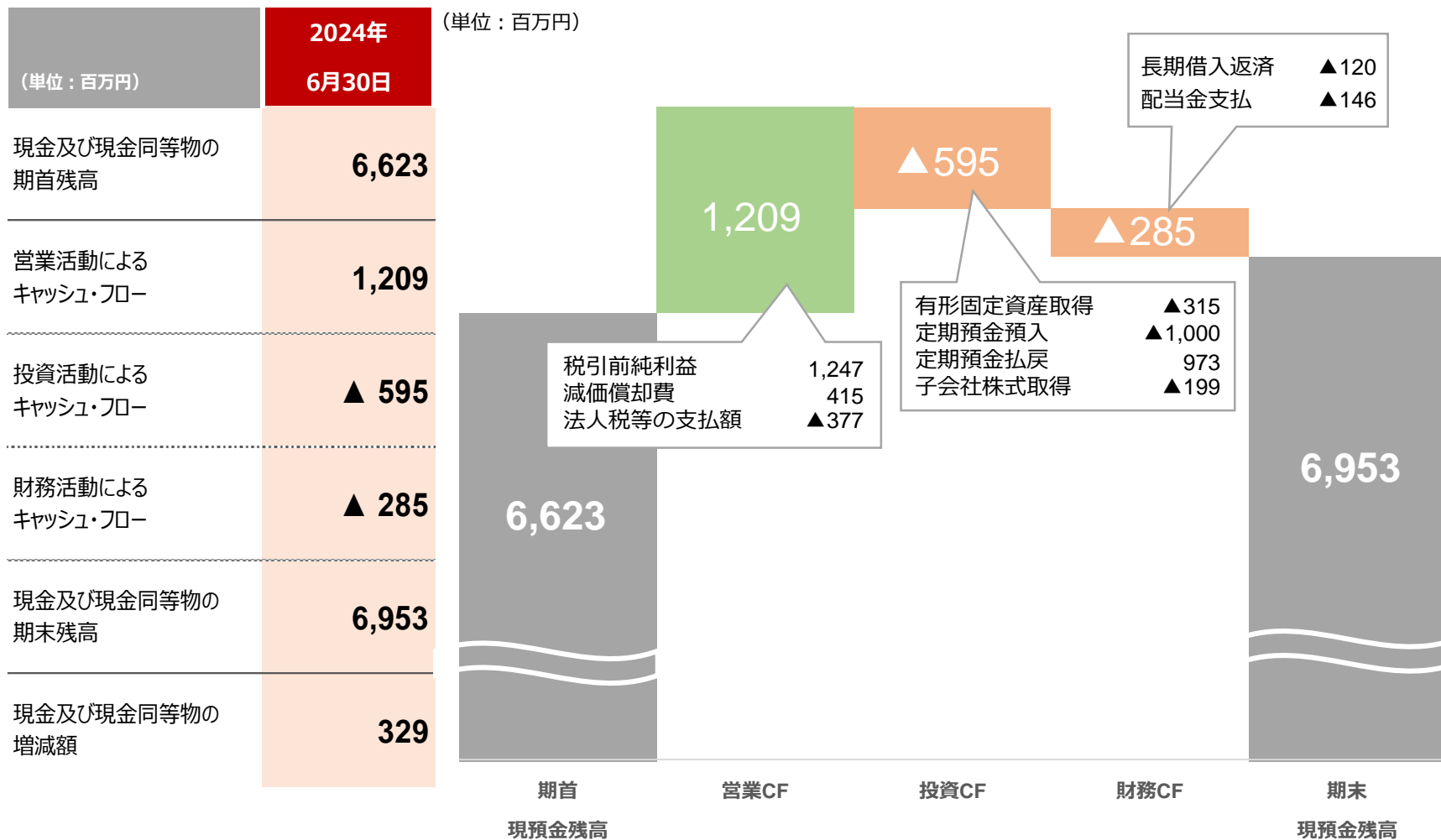
決算概要 貸借対照表（連結）

■ コロナに伴う借入金の返済後、自己資本比率は着実に高水準を維持

(単位：百万円)		2023年	2024年	増減額	主な変動項目		
		6月30日	6月30日		(単位：百万円)	2024年	増減額
					6月30日		
資 産	流動資産	8,655	9,398	+ 743	現金・預金	7,013	▲105
	固定資産	13,201	14,511	+ 1,309	売掛金	942	+209
	合計	21,856	23,909	+ 2,053	原材料及び貯蔵品	953	+602
負 債	流動負債	3,109	3,788	+ 678	有形固定資産	10,590	+136
	固定負債	655	757	+ 102	長期預金	2,000	+1,000
	合計	3,765	4,545	+ 780	買掛金	883	+290
純資産	資本金	2,210	2,210	—	1年内返済予定の 長期借入金	38	▲255
	利益剰余金	14,132	15,358	+ 1,225	未払金	1,551	+289
	その他	1,747	1,794	+ 47	未払法人税等	469	+168
	合計	18,091	19,363	+ 1,272	契約負債	171	+74
自己資本比率		82.4%	80.7%	▲ 1.7pt	長期借入金	44	+44
					資産除去債務	445	+43

決算概要 キャッシュ・フロー計算書（連結）

■ バランスの良いキャッシュフローと潤沢な現預金残高を維持



決算概要 出退店・投資実績

■ M&A 11店舗（愛知県）、他継続出店（関西1店（大阪））、グループ合計150店舗

出退店実績

	2023年 期末店舗数	2024年2Q累計				累計店舗数
		出店	M&A	退店	計	
合計	139	1	11	1	+11	150
東海	63		愛知県下11店舗		+11	74
関東	47			神奈川県横浜市	▲1	46
関西	25	大阪府河内長野市			+1	26
九州	4					4



新店 ブロンコビリー河内長野店



やわらかとんかつ かつ雅
小牧店



とんかつの和くら



とんかつ かつまさ伏見

株式会社レ・ヴァン

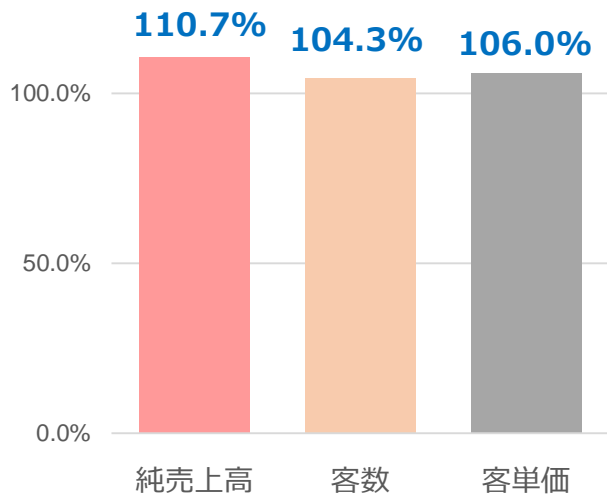


決算概要 既存店状況（前年比）

■アフターコロナにおける確かな成長維持

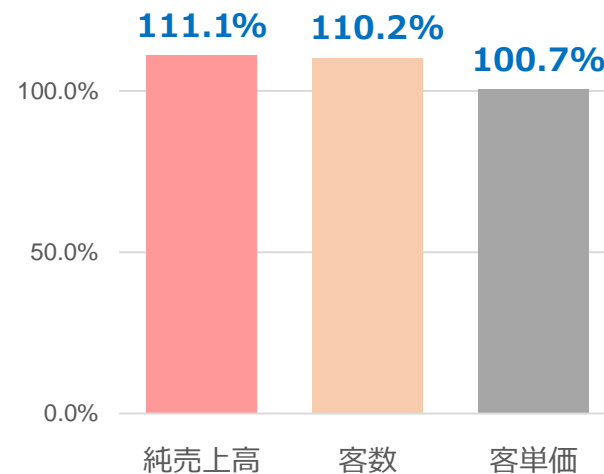
既存店前年比
（1～6月累計）

ランチ



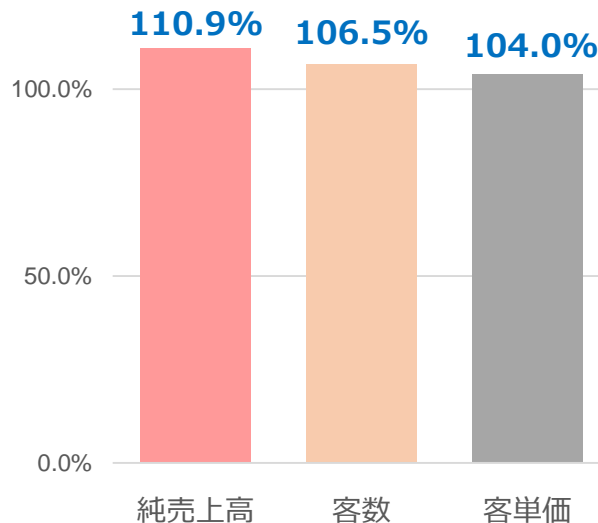
既存店前年比
（1～6月累計）

ディナー



既存店前年比
（1～6月累計）

全日

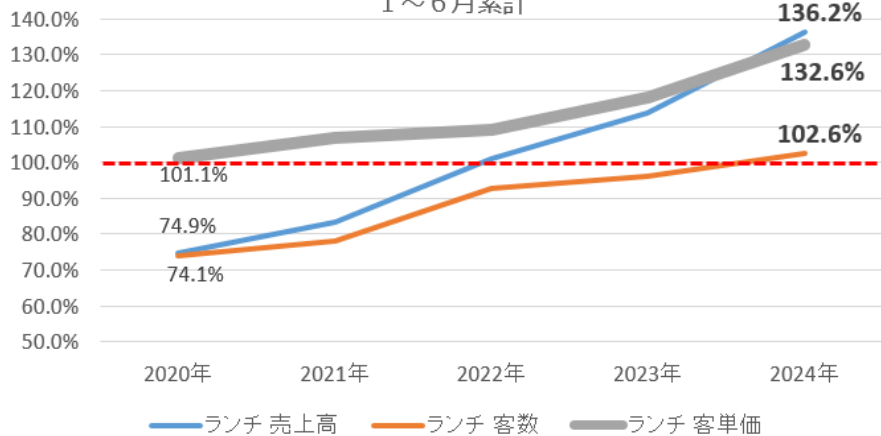


決算概要 既存店強化戦略

■メニュー強化によるランチ客単価アップとディナー客数アップを実現

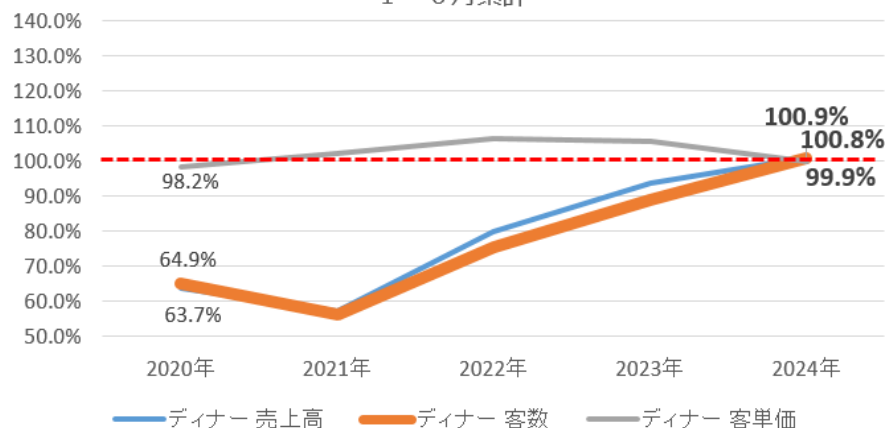
2019年比 (ランチ)

1～6月累計



2019年比 (ディナー)

1～6月累計

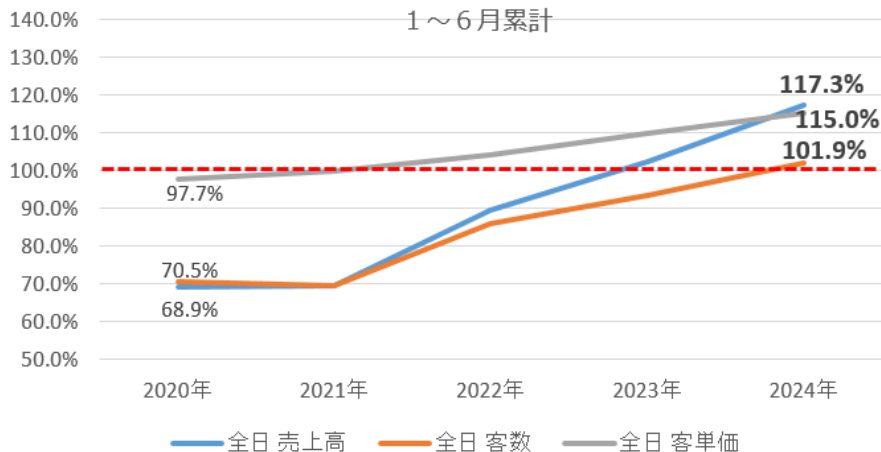


【ランチ客単価戦略】

- ・ランチメニュー価格改訂 (段階的)
- ・お客様の嗜好性に応え、プラスワン商品の提案

2019年比 (全日)

1～6月累計



【ディナー客数戦略】

- ・ディナー売れ筋の中間価格帯商品の導入
- ・期間限定ステーキの随時導入

決算概要 客数増加策（ディナータイム）

- 牛肉価格高騰の中、ワンストップの強みを活かし、売れ筋価格帯（同単価）で断続的に新しいステーキメニューを投入し、商品の魅力で顧客満足度を上げる

ブロンコビリーだからできること

- ① 定番メニュー化できない量も戦略的に調達でき、高品質原料で期間限定メニュー化
- ② 自社工場があるため、難しい規格の原料もステーキの規格にすることが可能
- ③ 店舗で新商品をおすすめするトレーニングを徹底

ワンストップ

調達

加工

調理



PREMIUM QUALITY

バイヤーズ セレクション

当社バイヤーが自信を持ってオススメする、希少で少量のため期間限定でしか取り扱いえない商品を「バイヤーズセレクション」として提供

決算概要 客数増加策（全時間帯）

■メニュー改訂年6回を継続し、来店きっかけを創出

サ ラ ダ バ ー

初春

春

初夏

夏

秋

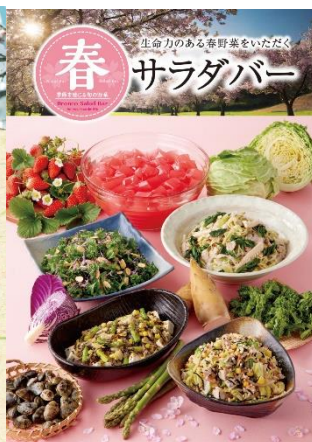
冬

1月19日～
3月7日

3月8日～
4月25日

4月26日～
6月20日

6月21日～



秋

冬

決算概要 リピーター創出策 (全時間帯)

■福袋販売

発売期間 1月2日～8日

二〇二四
ブロンコビリー

福袋

1店舗
150袋
限定
なくなり次第終了

ぜんぶ込みで
(税込)
4,000円!!

お一人様1袋まで

BRONCO BILLYのBBをあしらっています

デニム生地
×
ネイティブ柄

オリジナルバッグ

1会計につき
1枚使えます!

1,000円引
1会計につき1枚(1,000円分)使用可能
有効期限: 2024年1月9日(水)～2024年3月31日(日)

1,000円引クーポン×4枚

魚沼産コシヒカリ 2kg

ブロンコビリーでは、魚沼地域の中にある津南町で育ったコシヒカリだけを厳選して仕入れ、15年以上店舗で提供し続けています。ご家庭でマルドンの塩でにぎった「ご馳走おむすび」をお楽しみください。

ブロンコビリー店頭販売価格
1箱 500円
(税込 540円)

英国王室
御用達

マルドンの塩 1箱125g

小さなピラミッド形の結晶で出来ており、塩の芸術品と呼ばれています。サクサクとした食感とまろやかな味わいが特徴。素材・料理の味が引き立ちます。

決算概要 客単価増加策 (全時間帯)

■プラスワン商品の提案

① プチ贅沢スープ

1月19日～3月7日



3月8日～4月25日



② オマールビスククリームコロッケ

2月9日～3月11日



③ とろあじフライ

4月19日～5月23日



④ メガフェア

6月21日～



2024年12月期（連結）

業績及び配当予想と

今後の取組み

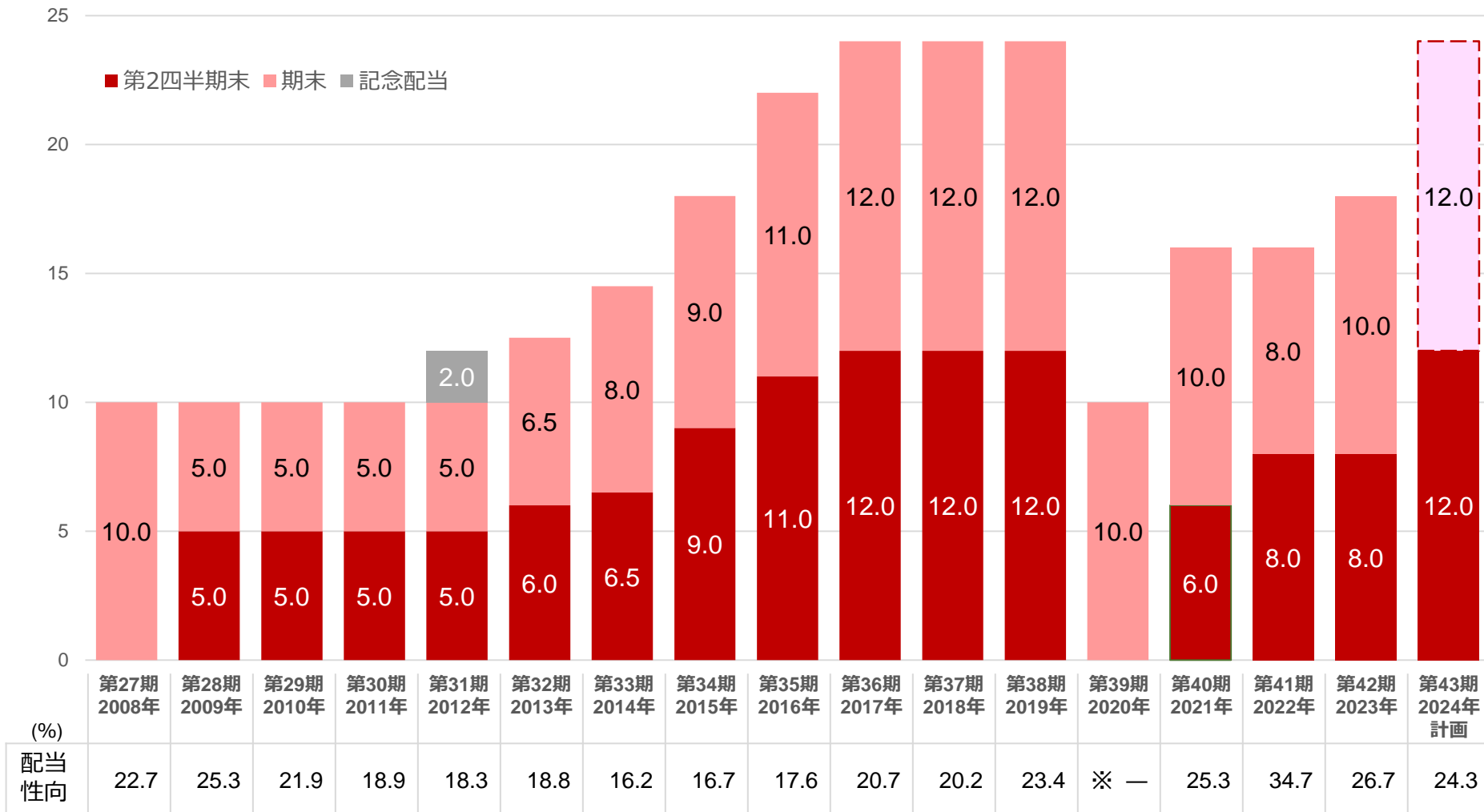
業績予想 2024年12月期 通期計画（連結）

■ 第2四半期累計業績の上振れ分を勘案して通期計画を上方修正 下期は当初計画をベースに策定

業績項目 (単位：百万円)	2019年		2023年		2024年（期首予想）		2024年（見直し後）		対 比	
	実績	売上比	実績	売上比	業績予想 (連結)	売上比	業績予想 (連結)	売上比	2019年	2023年
売上高	20,797	100.0%	23,377	100.0%	25,000	100.0%	26,400	100.0%	126.9%	112.9%
売上原価	6,104	29.4%	8,069	34.5%	8,308	33.2%	8,733	33.1%	143.1%	108.2%
売上総利益	14,692	70.6%	15,308	65.5%	16,691	66.8%	17,667	66.9%	120.3%	115.4%
販管費	12,297	59.1%	13,663	58.4%	14,741	59.0%	15,397	58.3%	125.2%	112.7%
営業利益	2,395	11.5%	1,644	7.0%	1,950	7.8%	2,270	8.6%	94.8%	138.0%
経常利益	2,458	11.8%	1,709	7.3%	2,000	8.0%	2,320	8.8%	94.4%	135.8%
当期純利益	1,544	7.4%	1,003	4.3%	1,200	4.8%	1,470	5.6%	95.2%	146.5%

業績予想 配当予想

コロナ前の水準であった年間24円まで配当予想を修正
 将来の事業展開に備え内部留保に努め、安定配当を基本方針



※2020年は当期純損失のため記載していません

業績予想 株主優待

権利確定

優待発送

年 **2** 回の株主優待

中間 6月 → 9月
 期末 12月 → 3月

2022年6月権利確定分から
 200株以上の優待拡充

所有株式数 (株)	株主優待券 	魚沼産コシヒカリ 
100~199	2,000 円分	
200~499	4,000 円分	もしくは 2 kg
500~999	6,000 円分	もしくは 4 kg
1,000~1,999	9,000 円分	もしくは 5 kg
2,000~	16,000 円分	もしくは 10 kg

店舗サイズのラインナップを増やし、出店余地拡大と新業態開発を加速

現在店舗サイズ
110席～130席



① 現在店舗サイズ
110席～130席



② 出店加速を図るために
中型モデルの導入 & 検証
75席～90席

従来店舗よりワンサイズ小さな
店舗開発を行い、出店余地を拡大
6月：河内長野店（大阪府）、7月：東松山店（埼玉県）

③ 都心出店に向けて新業態を検証
20席～50席

駅前立地等に
さらにコンパクトな新業態店舗も開発
8月：新業態を名古屋にて出店予定

今後の取組み 出店戦略

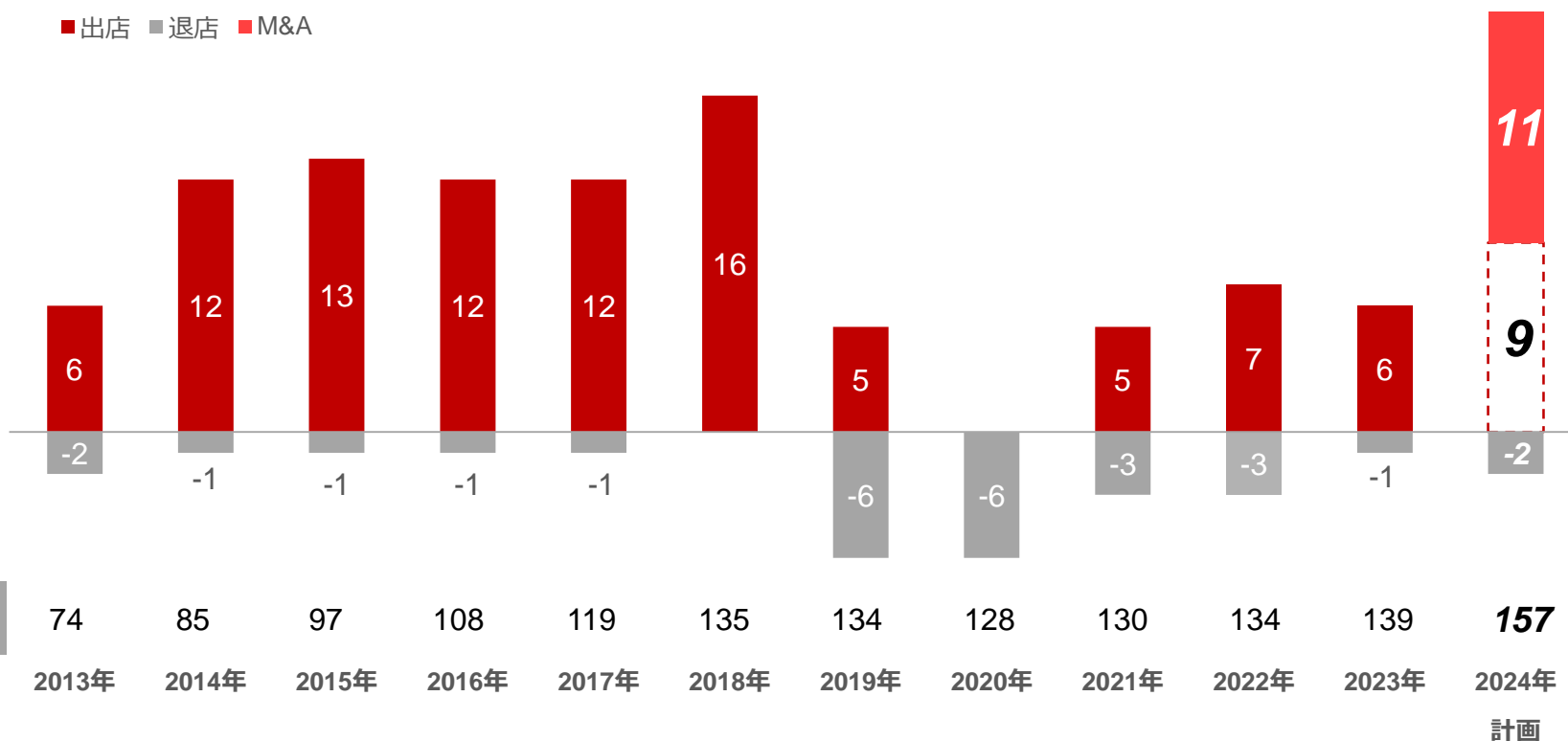
従来出店地域を厳選してきた結果、コロナ禍で閉店を最小限に抑えられた
 →2024年は新規出店へ積極的投資

5年で65店舗新規出店

既存店強化・コロナ禍

新規出店強化

■ 出店 ■ 退店 ■ M&A

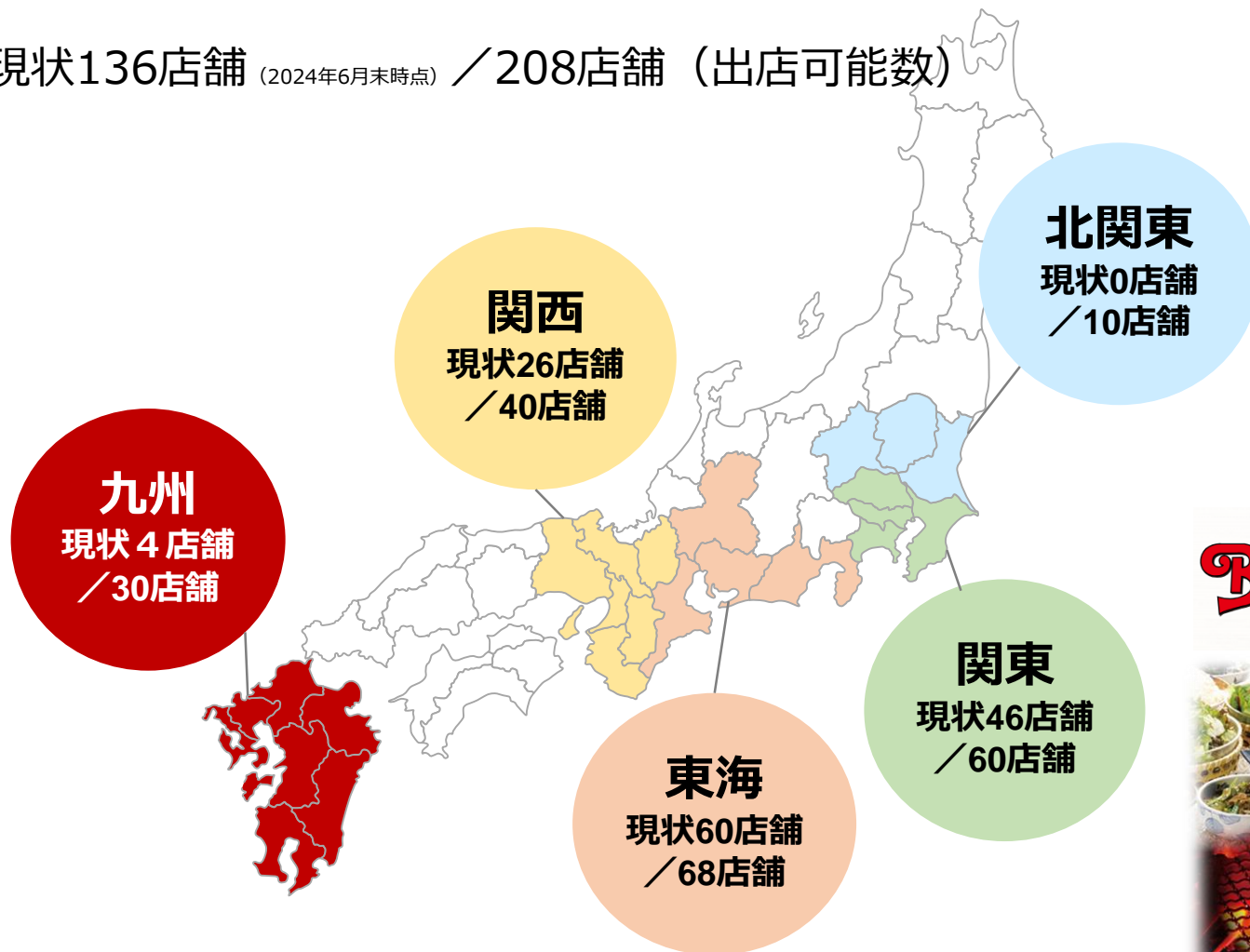


今後の取組み 出店戦略（ステーキ業態）

新規出店10店舗ペースを維持し、期末143店舗を目指す

関東・関西・九州地区をさらに強化、北関東進出も目指す

現状136店舗（2024年6月末時点）／208店舗（出店可能数）



決算概要 子会社化によるシナジー

2024年4月に株式会社レ・ヴァンを子会社化、シナジー効果を発揮し「とんかつ業態」の成長基盤を固め、グループ一層の成長を目指す

名称	株式会社レ・ヴァン
所在地	愛知県名古屋市 守山区元郷 1-203
事業内容	「とんかつ かつ雅」などの とんかつ専門店の運営
設立年月日	1990年4月10日
売上高	12億69百万円 (2023年3月期)



愛知県



今後の取組み 出店戦略（とんかつ業態）

収益性を重視した新規出店を継続し、2026年までに20～30店舗へ拡大



2026年 20～30店舗

株式会社レ・ヴァン

2024年 14店舗

- ・かつ雅、等 11店舗
- ・かつひろ 3店舗



2023年 かつひろ 3店舗



過去5期連続赤字の会社が弊社グループ化2年（2024年11月期）で黒字化見込み

①店舗拡大に向けての生産キャパシティの拡大

- 製造ラインの半分を2023年3～5月にブロンコビリー向け改修、今後の店舗増加に対応
- 店舗調理の一部移管による店舗の調理工数低減

②商品力の安定と強化と提案力の強化

- 店舗ごとのばらつきの低減
- よりおいしくすることへの挑戦
- 商品面での他業態への展開の支援



③外販向け商品の開発

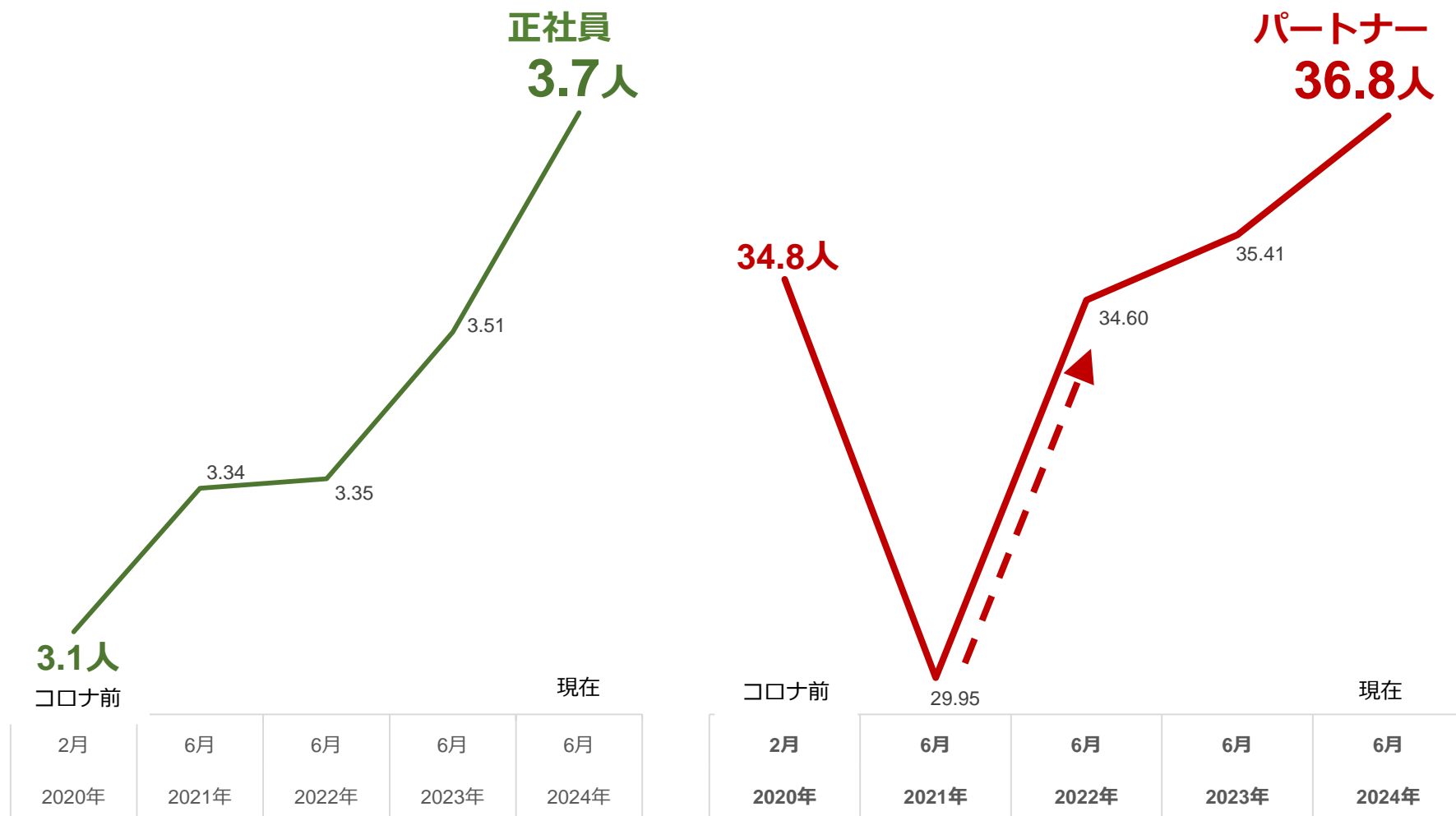
- 店舗使用ソースやドレッシング類の外販商品化
- 多様な販売チャネル化
(店頭販売・外部販売・ネット販売)



今後の取組み 継続的な人材確保

■ コロナ期間中もパートナー雇用継続し、コロナ前を上回る在籍数に回復

1店舗あたりの在籍者数 (株)ブロンコビリー単体



参考資料

社 名	株式会社ブロンコビリー
創 業	1978年
設 立	1983年12月26日
資 本 金	22億10百万円
本社所在地	愛知県名古屋市名東区平和が丘一丁目75番地
代 表 者	代表取締役社長 竹市 克弘
事業内容	ステーキ、ハンバーグのレストラン事業
展開地域	東海地区：愛知、岐阜、三重、静岡 関東地区：東京、埼玉、神奈川、千葉 関西地区：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良 九州地区：福岡
店 舗 数	グループ全店直営にて150店舗
従業員数	社員651名 パート・アルバイト5,069名 (株ブロンコビリー単体)
HPアドレス	https://www.bronco.co.jp/corporate/
グループ会社	株式会社松屋栄食品本舗、株式会社レ・ヴァン

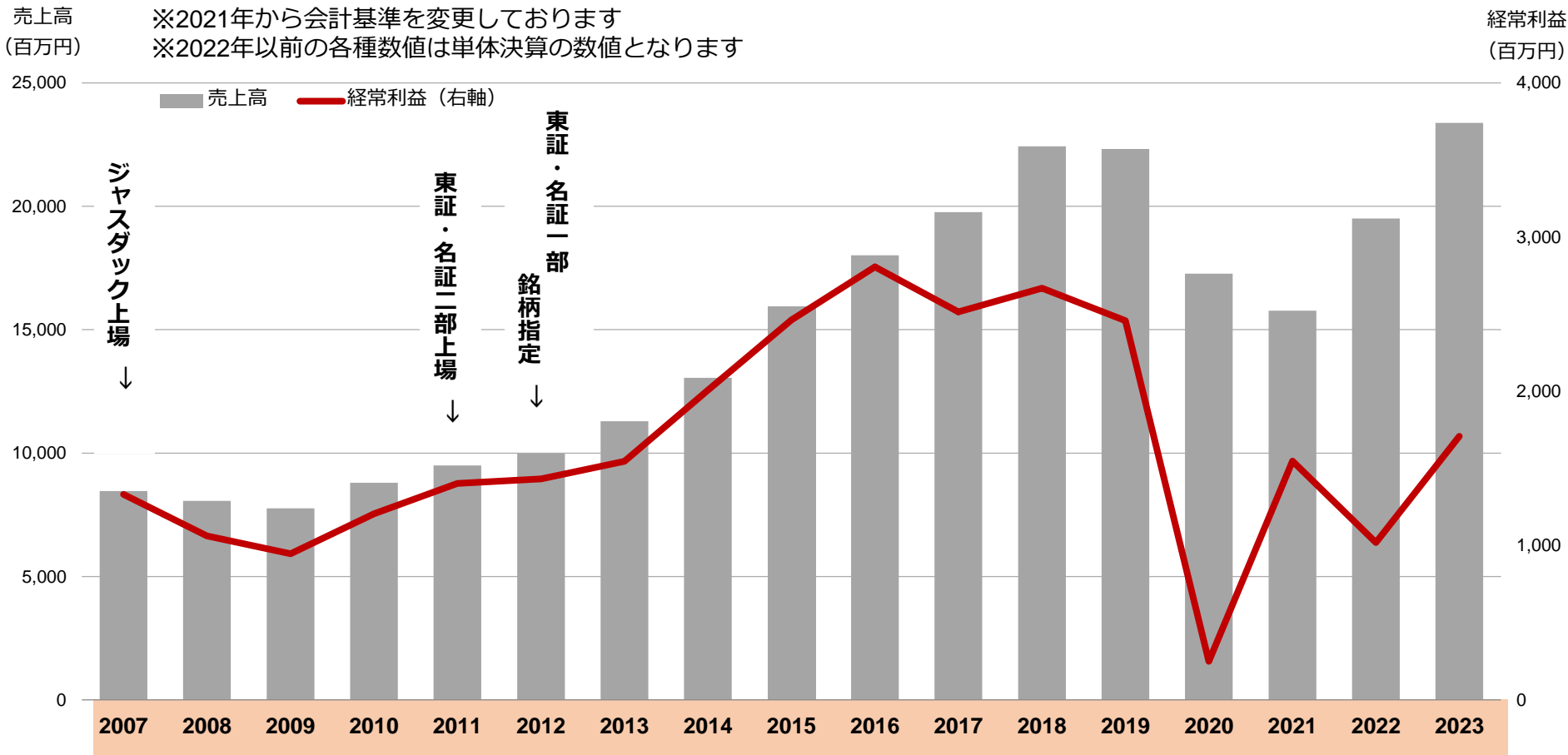


参 考 資 料 沿 革

1983年12月	ステーキレストラン経営を目的として名古屋市北区に株式会社ブロンコを設立
1993年 6月	多店舗出店に備え、愛知県春日井市に自社工場を開設
1995年 1月	株式会社ブロンコビリーに商号変更
1997年12月	本社を名古屋市名東区に移転
2004年 6月	オープンキッチンによる炭焼き、大かまどごはん、サラダバー導入の改装開始
2006年 4月	本社トレーニングセンター内に、ケーキ工場を開設 客席数の増加、分煙化、内外装のリニューアルを開始
2007年11月	JASDAQ上場
2008年 9月	関東地区出店開始
2009年10月	自社工場を「東海ファクトリー」として、トレーニングセンター、ケーキ工場も併設し拡大移転
2011年 8月	東証、名証市場第二部上場
2012年 8月	東証、名証市場第一部銘柄指定
2013年 3月	創業者 竹市靖公 代表取締役会長に 代表取締役社長に竹市克弘就任
2014年 5月	関西地区出店開始
2014年11月	関東地区の多店舗出店に備え、神奈川県厚木市に「関東ファクトリー」を開設
2016年 4月	100店舗となる鹿浜店（東京都足立区）開店
2019年 3月	トレーニングセンター併設のオフィスビル「BBビル」を名古屋駅前に開設
2021年 9月	新業態「とんかつ かつひろ」出店開始
2022年 4月	東京証券取引所プライム市場 及び名古屋証券取引所プレミア市場に移行
2022年 7月	株式会社松屋栄食品本舗の株式取得（子会社化）
2022年 9月	九州地区出店開始
2024年 4月	株式会社レ・ヴァンの株式取得（子会社化）



参考資料 業績推移 (2007~2023年12月期)



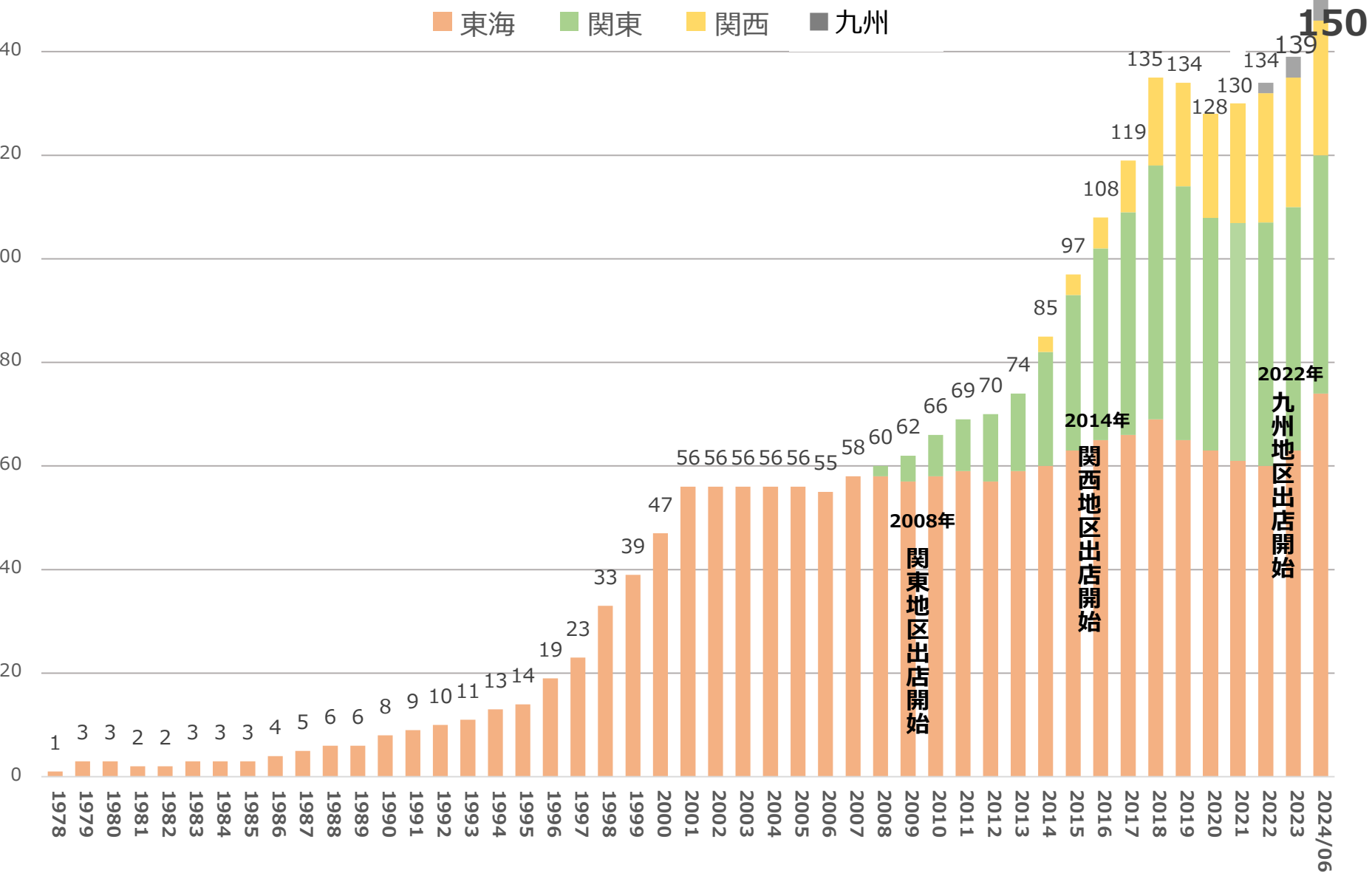
売上高	8,459	8,063	7,767	8,796	9,503	9,983	11,290	13,049	15,926	18,010	19,765	22,432	22,324	17,272	15,773	19,508	23,377
営業利益	1,355	1,064	938	1,191	1,374	1,403	1,527	2,013	2,449	2,754	2,446	2,597	2,395	162	▲48	746	1,644
経常利益	1,333	1,064	947	1,207	1,404	1,432	1,546	2,007	2,463	2,807	2,516	2,669	2,458	250	1,549	1,020	1,708
当期純利益	798	583	523	604	700	869	880	1,237	1,626	1,883	1,744	1,787	1,544	▲588	955	687	1,003
経常利益率	15.8%	13.2%	12.2%	13.7%	14.8%	14.4%	13.7%	15.4%	15.5%	15.6%	12.7%	11.9%	11.0%	1.5%	9.8%	5.2%	7.3%

参考資料 株価推移



※2013年6月30日及び2015年6月30日を基準日として、1株につき2株の分割を実施。
それ以前の株価は当該分割が行われたと仮定し、記載しております。

参考資料 店舗数推移



合 計	2024年6月30日現在 店舗数															2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年			
	東海					関東				関西						小 計	他 県		出 店 数	閉 店 数	出 店 数	閉 店 数	出 店 数	閉 店 数	出 店 数	閉 店 数	出 店 数	閉 店 数	
	愛 知 県	岐 阜 県	三 重 県	静 岡 県	東 京 都	埼 玉 県	神 奈 川 県	千 葉 県	滋 賀 県	京 都 府	奈 良 県	大 阪 府	兵 庫 県	構 成	出 店 数		閉 店 数												
																		出 店 数											閉 店 数
当 社	136	40	9	5	6	10	12	12	12	5	4	2	10	5	132	4	3%	5	6	—	6	5	3	7	3	6	1	1	1
B 社	144	3	2	1	3	16	8	11	14	3	3	4	13	9	90	54	38%	1	6	—	14	—	60	—	24	—	20	—	—
I 社	181	10	0	0	2	49	13	15	12	1	3	2	11	8	126	55	30%	111	17	2	223	—	47	—	18	1	20	—	5
M 社	113	11	3	1	0	2	6	3	6	1	1	1	2	3	40	73	65%	5	6	1	19	—	1	2	2	1	4	—	7
Y 社	91	7	2	6	7	6	0	1	0	0	2	0	8	1	40	51	56%						12	1	6	9	6	2	
G 社	83	6	1	0	5	4	8	13	4	2	3	3	5	4	58	25	30%	3	4	2	11	1	11	—	19	—	14	—	2
A 社	66	24	5	4	13	1	4	6	6	0	0	0	0	0	63	3	5%	7	4	2	2	—	—	—	2	1	—	1	1
D 社	61	0	0	0	0	8	29	2	1	0	2	1	6	2	51	10	16%	—	4	—	5	1	3	2	2	3	—	—	—
F 社	38	0	0	0	0	11	2	7	4	0	2	0	5	2	33	5	13%	—	3	—	1	—	—	—	2	—	—	1	—
K 社	3	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	33%	—	14	—	12	—	7	—	3	—	1	—	1

※各社ホームページから当社独自で調査・集計したものです

※上記数値に当社グループ内のとんかつ業態「かつひろ」「かつ雅」等14店舗は含めておりません

BRONCOBILLY

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。

なお、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

問い合わせ先

コーポレート本部 経営推進部

TEL : 052-856-4129

FAX : 052-856-1629

IRサイト

<https://www.bronco.co.jp/corporate/ir/>